

## JPNIC

第72回・第73回

## 総会報告

2023年度事業計画・収支予算

2022年度事業報告・収支決算

2023年3月の総会では2023年度事業計画・収支予算が、6月の総会では2022年度事業報告・収支決算が会員の皆さまに承認されました。本稿では、主に2023年度事業計画・収支予算および2022年度事業報告・収支決算についてご紹介します。

※1 第72回JPNIC総会(臨時)の資料・議事録 <https://www.nic.ad.jp/ja/materials/general-meeting/20230320/>

## 第72回JPNIC臨時総会(2023年度事業計画・収支予算・定款改定)※1

## ▶ 2023年度事業計画

ここでは、2023年度にJPNICとして注力したいポイントを記載します。

JPNIC全体に  
関わる事項

事業環境を取り巻く内外の状況を整理した上で、2023年度は以下のような方針で事業を進めることとしました。

- ▶ 「JPNICの理念」実現に向けた検討を進め、中長期的な事業方針を立案する
- ▶ 各種国際イベントやコミュニティイベントへ貢献し、JPNICの価値向上につなげる
- ▶ オンライン/オンサイトの特性を生かしJPNIC独自の情報発信に努める
- ▶ 職員採用と育成・強化とともに外部の人材、知見の活用も進める
- ▶ 中長期にわたって事業を安定的に行うための健全な財務基盤を維持する

下記3業務に注力してまいります。

- ▶ 資源管理業務においては、認証方式の移行やIPv4アドレス移転申請の電子化などの業務合理化、APNICとの文書体系の整合をさせるための見直し、さらにはレジストリシステムの見直し計画の実行を進めます。
- ▶ ルーティングレジストリ業務においてはPI割当先組織や割り当てアドレスを経路広告していない組織へのROA登録促進を行いながら、システムの強化も並行して実施します。
- ▶ 国際調整・連携業務では、2023年9月に京都で開催予定のAPNIC 56カンファレンスについて、APNICと連携して開催を盛り上げるため、日本からの参加促進やスポンサーへの働きかけなども行う予定です。

インターネット  
基盤整備事業

- ▶ 普及啓発業務については、セミナーコンテンツの拡充とInternet WeekおよびInternet Weekショーケースの次期構想に向けた取り組み、そしてセキュリティ技術に関する実証実験を継続し事業者への導入を促します。
- ▶ インターネットガバナンス業務に関しては、2023年10月に京都で開催されるインターネットガバナンスフォーラム(IGF)2023に向けて国内のインターネットガバナンス議論を喚起しながら、イベントをきっかけとして国内の議論、活動の基盤構築をめざします。
- ▶ JPドメイン名に関する業務では、5年ごとのエスクローエージェント更改のタイミングですので、このプロセスを円滑に進め、次期体制への移行を実施する予定です。

## ▶ 2023年度収支予算

事業計画を実行するための予算で、収支はほぼ均衡となっています。  
2023年度予算と前年度予算の比較は次の通りです。

経常収益	508,230,000円 (前年度比 -2,940,000円)	当期経常増減額	-27,010,000円 (前年度比 -27,720,000円)
経常費用	535,240,000円 (前年度比 +24,780,000円)	正味財産期末残高	2,163,750,000円 (前年度比 -27,080,000円)

会員の皆さまにお諮りした結果、2023年度事業計画、2023年度収支予算とも、上記の内容にて可決されました。

## ▶ 定款改定

「団体正会員が推薦する個人正会員(推薦個人正会員)の入会手続き、会費支払い、退会条件の明確化」および「総会資料の電子提供制度の対応」に関する定款の条文改正をお諮りしました。また、定款に付随する「役員選任に関する細則」における候補者の推薦手続きについての改正もご審議いただき、いずれも可決されました。

## ▶ 講演会「"デジタル冷戦"とインターネットガバナンス」※2

総会に引き続き、株式会社インターネットイニシアティブ取締役副社長の谷脇康彦氏による講演会「"デジタル冷戦"とインターネットガバナンス」を開催しました。インターネットが社会経済システムの基盤となり、データ駆動社会の中でサイバー空間とリアル空間が密接に関わる状況において、経済、技術の観点も含めたサイバー空間に対する安全保障ルール作りの重要性が増してきていることが論じられました。

※2 谷脇康彦氏 講演会「"デジタル冷戦"とインターネットガバナンス」 <https://www.youtube.com/watch?v=RPt9gNrxuQ>

## 第73回JPNIC通常総会(2022年度事業報告・収支決算)※3

ここでは2022年度に実施した事業の内容に関して、ポイントとなる点を列挙する形で記載します。  
事業報告書では、グラフや写真を織り交ぜつつ読みやすくまとめているので、総会資料も併せてぜひご覧ください。

### ▶ 2022年度事業報告

#### JPNIC全体に関わる事項

- ▶ 2021年度に再設定したJPNICの理念に基づき、2022年度事業計画と収支予算に従って、「IPアドレス事業」および「インターネット基盤整備事業」の2事業体制で安定的な法人運営を行いました。
- ▶ 「JPNICの理念」実現に向けた課題検討について、役員を交えたグループごとに議論を進めました。
- ▶ 会議運営としては、総会2回、理事会5回、評議委員会2回を開催しました。

#### IPアドレス事業

「資源管理業務」と「ルーティングレジストリ業務」の二つを注力項目として設定し、右記のように取り組みました。

- 「資源管理業務」
- ▶ 書面による契約手続きを電子署名を利用した電子契約手続きに移行
  - ▶ IPv4アドレス、AS番号移転手続きの簡略化とそれに伴う文書の統合
  - ▶ JPNIC YouTubeチャンネルを活用した申請手続き解説動画の作成、公開
  - ▶ Web申請システムユーザ認証機能の見直しと開発推進
  - ▶ APNIC管理アドレスの割当先確認への協力と、IPv4アドレス在庫の明確化実施

- 「ルーティングレジストリ業務」
- ▶ JPIRRサービスの提供およびシステムの安定運用
  - ▶ RPKIシステムの改善およびエラー、不具合の改修
  - ▶ ROA登録に関する問い合わせ対応やサポート
  - ▶ RPKIシステム機能の強化、向上に向けた検討と意見収集

#### インターネット基盤整備事業

「情報センター業務」「普及啓発業務」「調査研究業務」「インターネットガバナンスに関する業務」の四つを注力項目として設定し、右記のように取り組みました。

- 「情報センター業務」
- ▶ YouTubeを活用したセミナー、動画配信の充実
  - ▶ JPNICトーク라운ジの配信手法の拡充
  - ▶ 新たなTwitterアカウントを追加し、インターネットガバナンスに関する最新情報の発信

- 「普及啓発事業」
- ▶ Internet Weekショーケース、Internet Week 2022のハイブリッド開催
  - ▶ RPKI、DNSSEC、DMARC等セキュリティ技術普及のための実証実験参画
  - ▶ 国際会議参加支援プログラムの実施(ICANN76、APRICOT2023)

- 「調査研究業務」
- ▶ 情報ネットワークアーキテクチャー標準化の動向調査に関する調査研究実施
  - ▶ IGF2023に向けて、IGF2022会議の各セッションの議論テーマの分析についての調査研究実施

- 「インターネットガバナンスに関する業務」
- ▶ IGF2023開催に向けた民間における準備体制として「日本IGFタスクフォース」設立に参画
  - ▶ 「日本インターネットガバナンスフォーラム2022」と「IGF2022報告会」開催

### ▶ 2022年度収支決算

経常収益については、インターネット基盤整備基金資産の運用益が円安により増加、調査研究業務の受託、保有株式の配当増加により、前年度実績比約3,100万円の増加となりました。  
経常費用については、オフィス移転による賃料削減効果と移転により発生した一時費用との差額が費用減少の主要因としてありますが、一方で2022年度は感染症禍の中縮小していた国内外の出張再開による旅費交通費増加、APNIC Membership Feeの計算式変更による増加、インフレ傾向による各種経費の上昇などで、移転による費用削減効果を打ち消す形となり、前年度実績比860万円減少となっています。結果としては、2022年度の評価損益前の当期経常増減額は、9,500万円の黒字となり、正味財産期末残高については、2022年度末で22億円となり、引き続き十分な水準を維持しています。

経常収益	611,891,521円 (前年度比 +31,209,433円)	経常増減額	101,936,693円 (前年度比 +40,399,571円)
経常費用	516,851,002円 (前年度比 -8,599,725円)	正味財産期末残高	2,219,143,740円 (前年度比 +90,007,340円)

会員の皆さまにお諮りした結果、2022年度事業報告、2022年度収支決算とも、上記の内容にて可決されました。

### ▶ 総会講演会

※4 YouTube JPNICチャンネル [https://www.youtube.com/@JPNIC\\_info](https://www.youtube.com/@JPNIC_info)

総会に引き続き、講演会を2部構成にて開催いたしました。第1部では、株式会社(くわだて)代表取締役であり、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授であるクロサカタツヤ氏に「インターネットとトラスト ～AI時代に必要なインフラの再考～」と題してご講演いただきました。第2部では、「JPNIC会員と語る：インターネットを守る技術普及とガイドライン～RPKI/DNSSEC/DMARC～」と題して、2022年度からJPNICでも参画している、総務省によるRPKI/DNSSEC/

DMARC等送信メールアドレス認証に関する実証実験に関わっていただいた、廣瀬一朗氏(総務省サイバーセキュリティ統括官室 統括補佐)、末原孝積氏(GMOインターネットグループ株式会社 システム統括本部 インフラ・運用本部副本部長)、加瀬正樹氏(JPAAWG プログラム委員/株式会社TwoFive CTO)の3名の方にご登壇いただきました。会場からも質問が出て活発な意見交換が行われた、充実した時間となりました。ぜひ、YouTubeのJPNICチャンネル※4でご覧ください。